

銀山集落「集落営農ビジョン」

(人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援) ・ 地域計画実現型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日：令和 7 年 9 月 18 日

修正日： 年 月 日

市町村名	岩美町	組織名	銀山振興会
1 地区の範囲 岩美町銀山地区			
2 地区の概要			
水田面積 6.83 h a		主な栽培作目 水稻	
農家数 9 戸		地域内の農業を担う者の経営体数 3 経営体	
認定農業者数 経営体		農業支援サービス事業体の経営体数 1 経営体	
3 組織の概要			
設立時期 (規約等の制定日) 平成 22 年 3 月 7 日		構成農家数 9 戸	
組織形態 (該当形態に○を記入) ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型			
役員の数・年齢 2 人 (平均年齢 74 歳)			
オペレーターの数・年齢 3 人 (平均年齢 72 歳)			
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 9 人 (平均年齢 68 歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標 当集落は、戸数 18 戸の山村集落である。その内 9 戸が水田面積 6.8ha で水稻栽培している。年齢構成は 50 代 2 名、60 代 6 名、80 代が 1 名である。経営規模は 30a 未満が 2 戸、30～50a が 2 戸、50a～100a が 3 戸、100a 以上が 2 戸である。1 筆の面積は小さく全体の 50 筆の中で 10a 未満が 18 筆、10a～20a が 25 筆、20a～30a が 6 筆、30a 以上が 1 筆である。用水系統は 2 系統あり、3 団地に分かれているが周辺 4 集落の耕作者で構成している山ノ神営農組合で中山間直接支払交付金、多面的機能支払を活用し地域全体で管理している。平成 22 年に銀山振興会を設立し、作業受託を行い、現在集積率 100%である。地区の担い手として、中間管理機構を活用している人が 3 名で、80 代、60 代の 3 人で集積面積の 65%を耕作している。今後、80 代の耕作地を 60 代の 2 名へ移行し世代交代をして行く。			
(2) 水田の作付計画 (水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策 現在兼業農家が多く、田植作業が 5 月の連休に集中しているため“ひとめぼれ”が多い。一方で担い手となる農家は、作業時期を分散し 3 品種を作付けしている。現在の品種別作付け割合は、ひとめぼれ 50%、きぬむすめ 20%、星空舞 30%であるが、今後担い手 3 人は高温に比較的強く倒伏しにくく作りやすい星空舞を増やしていき			

い。販売先は、引き続き、大半を J A に出荷する。
(3) 農業用機械施設の効率利用 平成 22 年に導入した 3 条刈りコンバイン (29ps) は、経年劣化のためワラの詰まりや刈取りの不具合が起き作業効率が低下し、修繕のため修理や部品交換が度々発生し負担となっている。また、当地区は湿田が多いため機械が傾いたり沈んだりすることで刈取りに時間がかかってしまい、圃場によっては部分的にバインダーや手刈りで対応しないといけないため時間と手間がかかり予定どおりに作業が終了せず、ひとめばれで 1 週間程度作業が遅れることがある。 そこで湿田での作業効率を高めるため、水平制御機能 (4PC モンロー) 付きの今よりも馬力の高い 3 条刈りコンバイン (34ps) を導入し、適期に収穫し品質と収量の確保を目指す。現機種は廃棄する。新機種は最速の作業スピードが 1.05m/s から 1.15m/s に増えることで作業効率が 9.5% アップし水平制御機能 (4PC モンロー) で高い脱穀精度で品質や収量を向上させる。加えて、傾き調整により傾斜した湿田への進入や走破がスムーズになり作業効率が高まる。作業効率を高めることで地区内の集積率 100% を維持し、今後は地区外の面積を現在の 1.77ha から目標年度の 10 年度には 1.95ha へ拡大していきたい。銀山集落のある蒲生地区には大規模な法人組織がないため、リタイアする農家が増える中、農地を引き受ける担い手が不足している。そのため近隣集落と話し合いを持ち、地区外の農地を積極的に取り込むことで耕作放棄地を出さないようにしたい。
(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針 後継者育成は、近隣集落の課題として考え、銀山振興会としては、今後は 50～60 代が農作業や組織運営の中心となるよう育成を行っていききたい。
(5) 経営多角化の方針・具体策 経営規模が小さく、兼業農家が多いため、多角化は機械、労働力、資金力等から困難である。

I 人材確保型支援実施計画 ※規模拡大・発展支援型支援のみを実施する場合は省略

1 人材確保のための取組方針					
項目		実施年度			
		○年度	○年度	○年度	○年度
人材 育 成 研 修	実務研修				
	免許取得				
	その他				
集落営農活動への参画					
2 畦畔管理の省力化のための取組					
(1) グランドカバープランツ施工計画					
施工場所：					
施工対象面積（畦畔実面積）：				ha	
本田（＝水張）面積：				ha	
年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度	

1 年目				
2 年目				
3 年目				

注 1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画

(機械利用対象畦畔面積 ha、本田 (=水張) 面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金 額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理作業の状況

内 容	現 状 (年 度)	事 業 実 施 後 (年 度)
取組対象 (予定) 面積 (ha)		
取組対象面積当たり年間 作業時間		

注 1) 取組対象圃場について記載すること。

2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

3 園芸品目の試作

項 目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
園芸品目の試作			

4 販わい活動への参画促進

項 目	実施年度		
	○年度	○年度	○年度
販わい活動への参画促進			

II 規模拡大・発展型支援実施計画

※人材確保型支援のみを実施する場合は省略

1 集積（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標

項目		現状	目標 10 年度
農 地 の 集 積	地区内集積面積 A	6.83 h a	6.83 h a
	対象水田面積 B	6.83 h a	6.83 h a
	集積率 A/B	100%	100%
	地区外集積面積 C	1.77 h a	1.95 h a
	組織集積面積 A + C	8.60 h a	8.78 h a
経営の多角化への取組			

注 1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

注 2) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から 3 年以内のいずれかの年度で設定すること。

注 3) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表 1、2）により作成すること。

2 農業用機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金 額 (円)	導入予定年 月	本事業による 導入機械に○
コンバイン	3 条・34ps	1	5,900,000 円 (税抜)	R7.10	○

III 添付資料

1 人材確保型支援

(1) 研修計画一覧（参考様式）

(2) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）

2 規模拡大・発展型支援

(1) 集積状況一覧（別表 1、2）

(2) 機械の利用計画（別紙）

(3) 規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）